

SEMI-SEAJ 合同統計会議（2026年 夏）

SEMI 統計部門、SEAJ 半導体調査統計専門委員会、および SEAJ 事務局は、7月21日に定例の SEMI-SEAJ 合同統計会議を開催した。

本会議では、SEMI と SEAJ が共同で運営する世界半導体製造装置統計プログラム「Worldwide SEMS (Worldwide Semiconductor Equipment Market Statistics)」の運営状況に加え、AI 投資拡大を背景とした半導体市場および半導体製造装置市場の最新見通しについて意見交換を行った。本稿では、その概要を紹介する。

会議概要

開催日時 : 2026年7月21日 (火) 14: 00~17: 00

出席者 : (敬称略、順不同)

SEMI 側

Clark Tseng (Senior Director, Market Intelligence, SEMI HQ)

SEAJ 側

長部 太郎 (半導体調査統計専門委員会
委員長、日立ハイテク)

小木曾 康治 (同 副委員長、アドバンテスト)

吉川 秀幸 (同 委員、荏原製作所)

松本 誠謙 (同 委員、キヤノン)

宮田 剛敏 (同 委員、アルバック)

毛利 知佐世 (同 委員、SCREEN セミコンダクター
ソリューションズ)

日高 徳一 (同 委員、ヤマハロボティクス)

村松 隆幸 (同 委員、KOKUSAI ELECTRIC)

栗原 京子 (SEAJ 事務局)

安藤 愛 (SEAJ 事務局)

1. 前回会議のフォローアップ

前回会議では、SEMI よりシステムレベルテスト関連市場の把握を目的として、統計プログラムにおける検査用装置分類の細分化を検討したいとの提案があった。今回あらためて議論を行った結果、現時点では市場規模が限定的であることから、分類変更は実施しないことで合意した。

2. Worldwide SEMS 参加企業に関する情報交換

Worldwide SEMS 参加企業の状況について、SEMI およ

び SEAJ それぞれから報告が行われた。

SEMI からは、参加企業1社の事業撤退により、参加企業数が38社になったことが共有された。また、台湾および東南アジア地域の企業を対象に参加企業の拡大活動を継続していることが紹介された。

SEAJ からは、前回会議以降に1社が新たに統計プログラムへ参加し、参加企業数が43社となったことが報告された。併せて、新規参加企業の獲得に向けた活動状況について説明された。

3. 設備投資動向

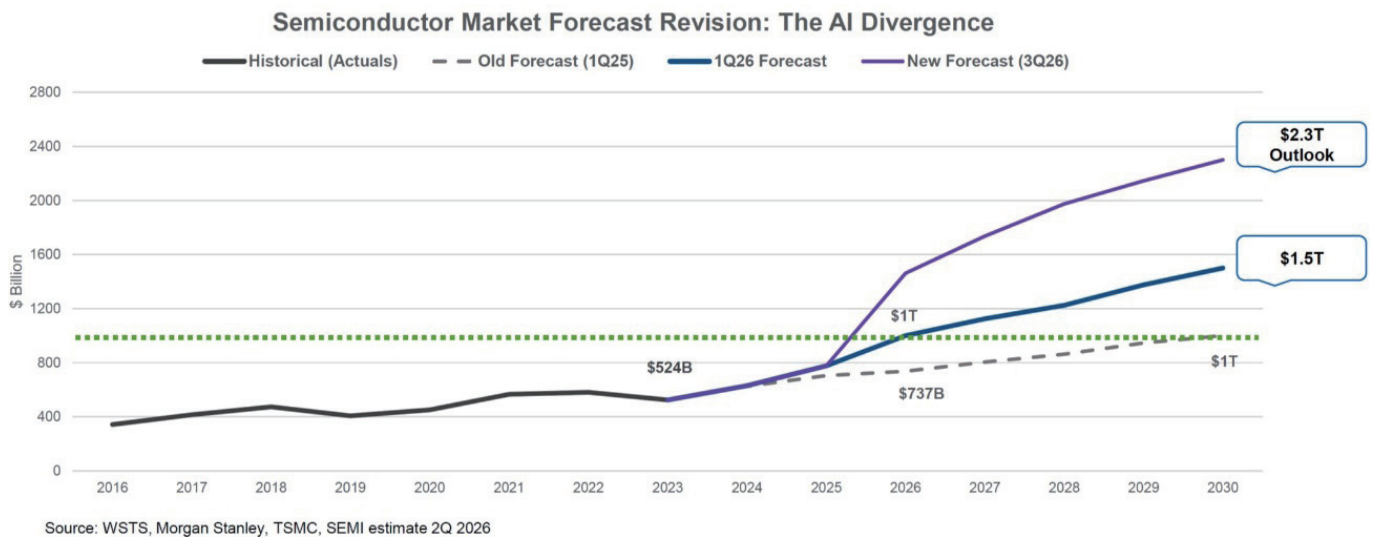
Clark Tseng 氏より、SEMI が7月14日に発表した SEMI Equipment Forecast の概要が紹介された。主なポイントは以下の通りである。

- 1) AI インフラ向け投資の拡大を背景に、半導体市場規模予測は継続的に上方修正されている。2025年第1四半期時点では世界半導体市場は2030年に1兆ドルへ到達すると予測されていた。その1年後、2026年第1四半期には1兆ドル市場到来の時期が2026年へと前倒しされ、2030年には1.5兆ドルに達するとされた。さらに今回の予測では、2030年の市場規模を2.3兆ドルと見込んでいる (図1)。
- 2) SEMI は、AI/HPC 向けインフラ投資の拡大を背景に、先端ロジックおよび先端メモリ向け投資が加速するとみている。このため、半導体製造装置市場は2026年に前年比23%増の1,660億ドルと過去最高を更新し、2027年も同21%増の2,010億ドルへ拡大すると予測している (図2)。

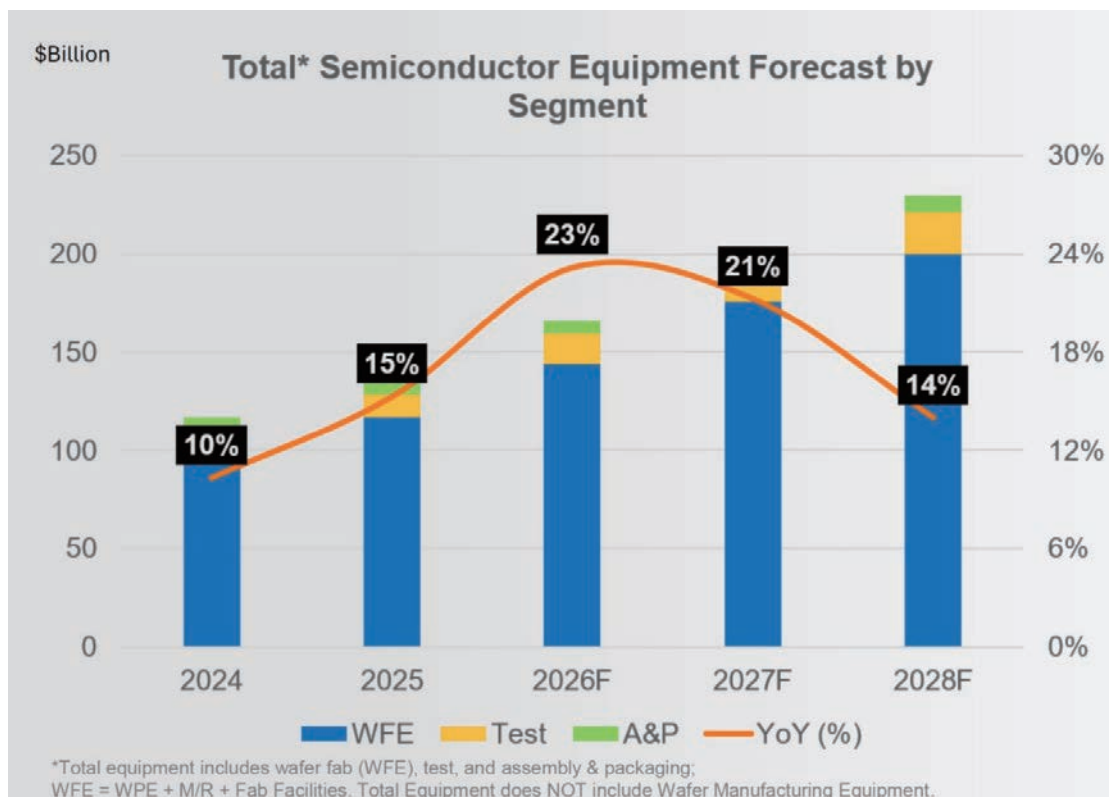
前工程用製造装置 (WFE) 市場については、先端ロジックおよび先端メモリの生産能力増強を背景に、2026年に前年比23%増、2027年に同22%増の成長を見込んでいる。

検査装置 (Test) 市場については、先端ロジックおよび先端メモリの生産拡大に伴い、検査の工程数増加や長時間化が進むことから、2026年に前年比31%増、2027年に同19%増と、半導体製造装置市場全体を上回る成長を予測している。

先端パッケージ需要の拡大を背景に、組立・パッケージング装置 (A&P) 市場も2026年に前年比10%増、2027年に同15%増と堅調な成長を見込んでいる。



☒1 Semiconductor Market Forecast Revision

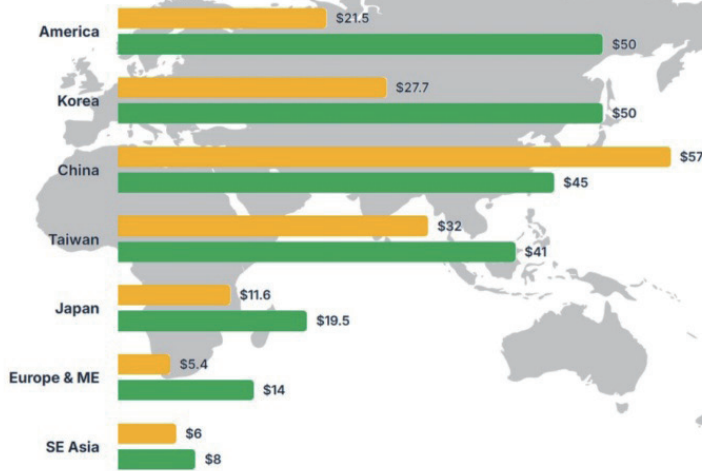


☒2 Total Semiconductor Equipment Market Forecast

Regional semiconductor fab investment forecast, 2025 vs. 2029F, US\$B

*Regions sorted by 2029 forecast size. (US\$ Billions)

2025 2029F



Source: SEMI World Fab Forecast Report, 2Q 2026

Regional Read-Through

AI-aligned regions step up
Korea and America show major
investment increases by 2029, driven
by memory, leading-edge
manufacturing, and strategic capacity
programs.

Growth is becoming more selective
Global investment is not expanding
evenly. More of it is concentrated in
technologies tied to AI, memory,
leading-edge logic, and supply-chain
resilience.

図3 Regional semiconductor fab investment forecast, 2025 vs 2029

- 3) 地域別では、AI 関連投資を背景に、韓国および米国で大幅な設備投資拡大を見込んでいる。今後の設備投資は均等に拡大するのではなく、AI、先端メモリ、先端ロジック、およびサプライチェーン強靱化に関連する分野へ重点的に配分される傾向が一層強まるとみている（図3）。

4. 需要予測情報の交換

SEMI は、世界市場ベースで CY2026 を 1,659 億ドル（前年比 23% 増）、CY2027 を 2,012 億ドル（同 21% 増）、CY2028 を 2,295 億ドル（同 14% 増）と予測している。

一方、SEAJ は日本製装置市場について、FY2026 を 6.55 兆円（前年比 26% 増）、FY2027 を 7.40 兆円（同 13% 増）、FY2028 を 7.77 兆円（同 5% 増）と予測している。

参加者の間では、市場環境が極めて速いペースで変化しており、従来以上に予測が難しくなっているとの認識で一致した。また、AI 関連需要の堅調な推移を背景に、市場環境が落ち着くタイミングは 2027～2028 年頃から 2029～2030 年頃へと後ずれしているとの見方が共有された。さらに SEMI からは、足元の市場変化のスピードを踏まえると、予測がわずか 1 か月で陳腐化してしまう可能性があるとの説明があった。

5. 今後の予定の確認

最後に、SEMI と SEAJ で実施する四半期ごとの Worldwide SEMS についての記者発表スケジュール、SEAJ の次回需要予測更新のスケジュールなどを共有した。次回の SEMI-SEAJ の合同統計会議は、SEMICON Japan に合わせて 12 月 8 日に日本で開催する方向で合意した。



SEMI-SEAJ 合同会議の参加者

（半導体調査統計専門委員会 委員長 おさべ 長部 太郎）